

EMIS代替サービスの検討状況

令和6年10月

厚生労働省医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室

＜第一部＞

EMIS代替サービスへの切替計画についての進捗状況等について

厚生労働省医政局地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室

目次

1. EMIS代替サービスの設計・構築状況

2. EMIS代替サービスを利用した訓練・研修

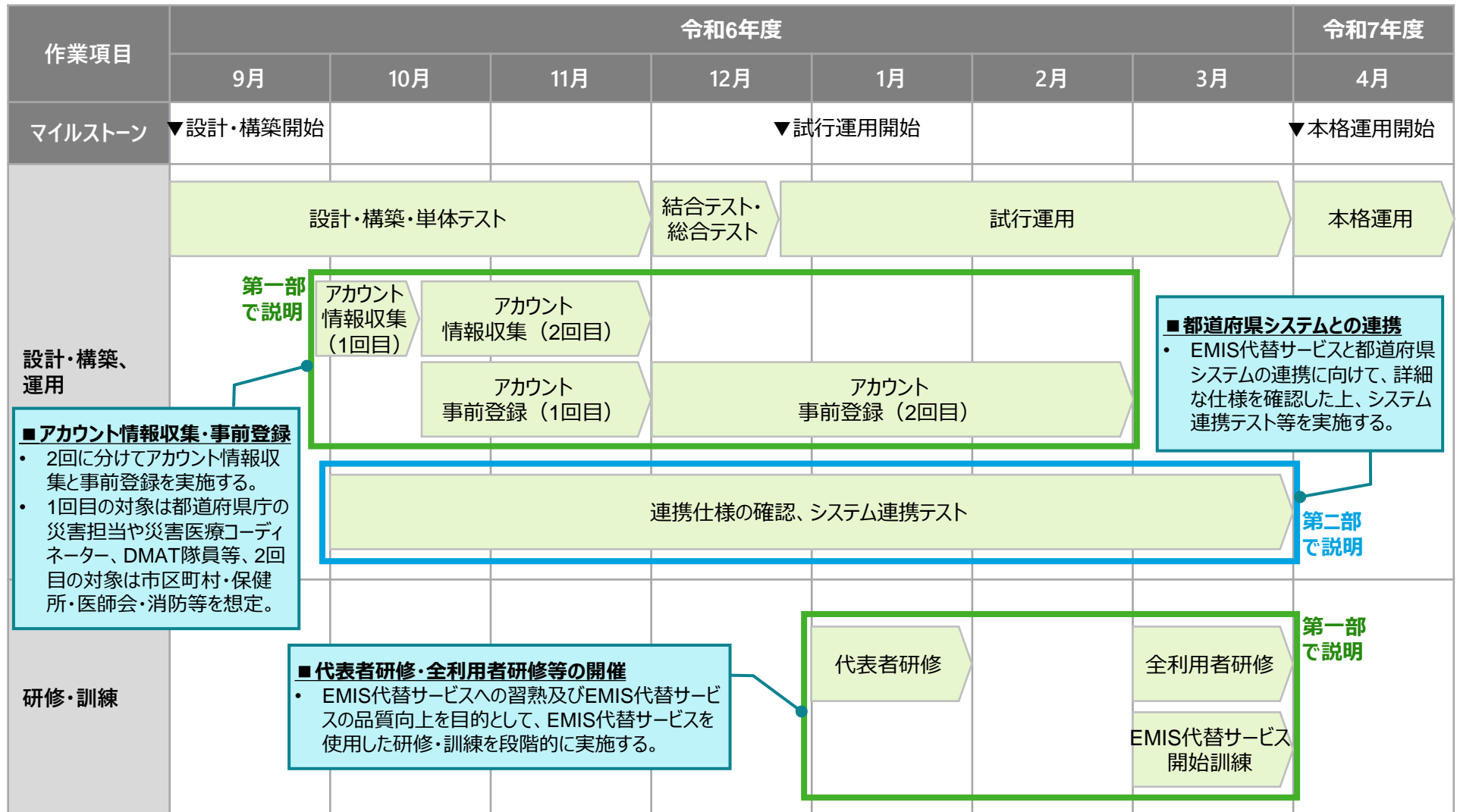
3. EMIS代替サービスにおける各都道府県のアカウント発行・管理

4. EMIS代替サービス提供事業者との個別契約

1. EMIS代替サービスの設計・構築状況

本格運用に向けたスケジュール

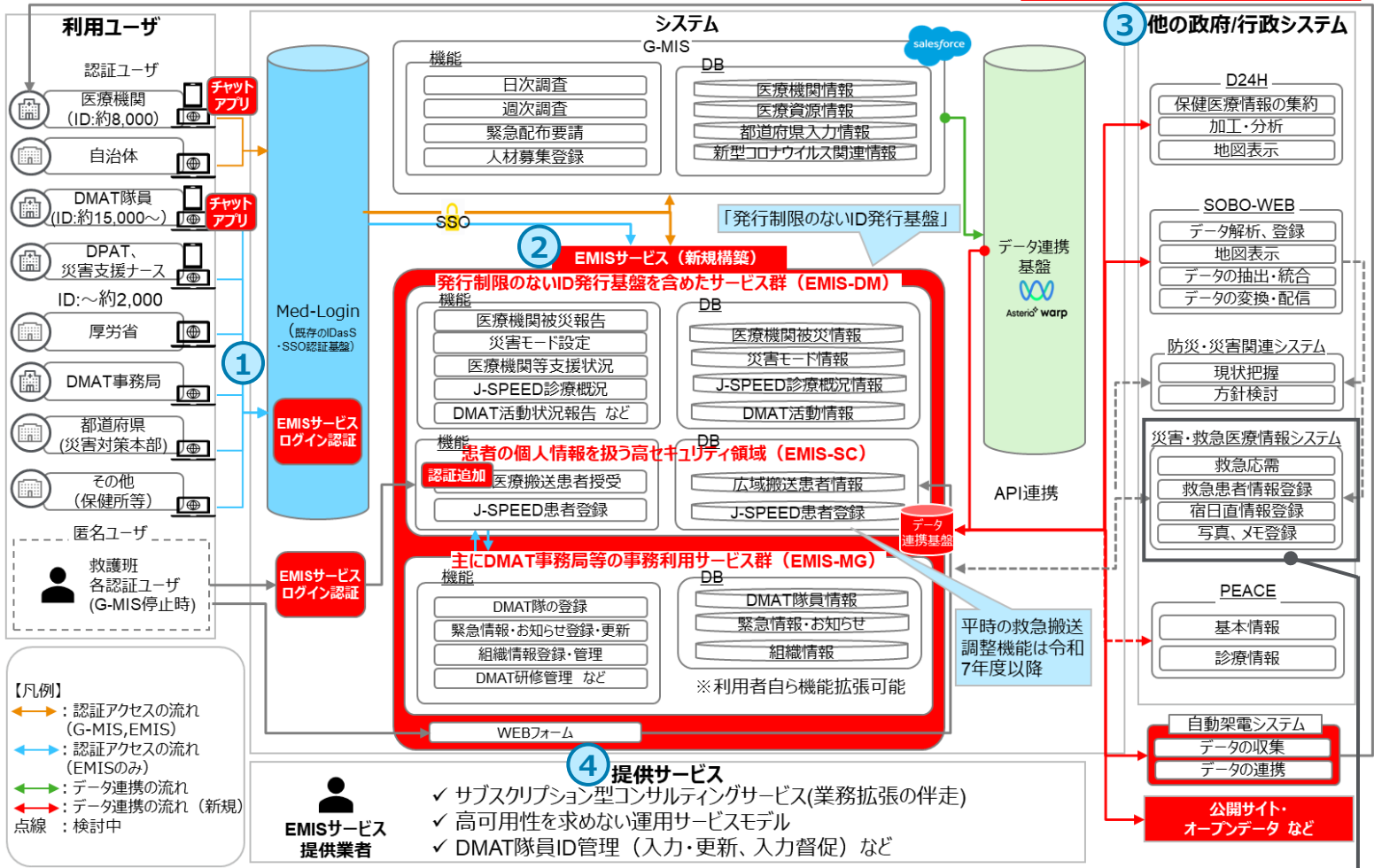
EMIS代替サービス提供事業者が8月末に決定し、現在、設計・構築を実施しています。試行運用及び本格運用に向けて都道府県に依頼事項があるためご協力いただきたく、本日の都道府県説明会の第一部にて研修・訓練及びアカウント発行・管理について、第二部にてシステム連携についてご説明いたします。



1. EMIS代替サービスの設計・構築状況 システムの全体像

EMIS代替サービスは医療機関、DMAT等がPC及びスマートフォンのウェブブラウザから最適な画面サイズでG-MISのMed-Loginを介してログインし、EMIS代替サービスにSSO連携して各機能・画面を利用します。また、災害現場に応じて柔軟に機能・画面の追加・改修が可能なローコーディングツールを用いて構築します。

アーキテクチャ



サービスの特徴

- 1 利用ユーザ**
 - EMIS代替サービスの利用者は、G-MISのMed-LoginからログインしてEMIS代替サービスにSSO連携する。
 - 救護班等の災害医療チームはEMIS代替サービスの専用の認証機能を用いて直接EMIS代替サービスにログインする。
- 2 システム**
 - EMIS代替サービスは複数のローコーディングツールを用いて、災害時に柔軟に機能の追加・改修が可能な保守性の高いシステムを設計・構築する。
- 3 他の政府/行政システム**
 - 現行EMISと連携しているG-MISやD24Hの他、SOBO-WEB、都道府県の防災・災害・救急関連システム、PEACE等との連携に向けて調整を進めている。
- 4 提供サービス**
 - システム利用を提供するだけでなく、DMAT等のアカウント発行・管理等も含めてサービスとして提供する。

※ システムの全体像は現時点の想定であり、EMIS代替サービスの設計・構築の状況によっては今後変更となる可能性があります。

都道府県の防災・災害・救急関連システムとSOBO-WEBは連携に向けた調整準備中のため、暫定的にEMIS代替サービスと連携します。ただし、都道府県との個別連携はEMISでは負担が大きく、今後2年間を経過措置と位置づけ、SOBO-WEBへの切り替えを推奨します。

1. EMIS代替サービスの設計・構築状況

EMIS代替サービスの画面の考え方

調達仕様書及び要件定義書の画面デザインイメージを基にSalesforce及びkintoneのローコーディングツールを用いて機能・画面を設計・構築しています。

例：医療機関の利用者がパソコンでログインした際に表示されるダッシュボード画面のイメージ

The screenshot displays the EMIS replacement service dashboard for a medical institution. The interface is in Japanese and shows a sidebar with navigation options, a main content area with a progress indicator for 'Basic Information Input', and a right-hand panel with a 'Pre-evaluation' section and a 'Emergency Information' table.

EMIS
広域災害救急医療情報システム

災害運用中

ダッシュボード DMAT
ダッシュボード 医療機関
ダッシュボード 都道府県、市区町村・保健所
ダッシュボード 厚生労働省・DMAT事務局

本部
本部・拠点情報登録 (標準)
組織情報管理

医療機関
被災状況の詳細入力 (任意)
DMAT隊の登録
救護班登録
医療機関情報検索・表示
救護班活動状況の入力 (標準)

状況モニター
本部・拠点情報参照
医療機関等支援状況 (Listview)
医療機関支援状況 (標準)
DMAT・救護班活動状況 (標準)
DMAT隊員管理 (標準)
災害モード状況確認
被災状況リスト

< ダッシュボード 医療機関

山田総合病院 / 山田総合病院

基本 施設1 施設2 施設3 DMAT資器材

基本情報の入力

1 基本情報入力 2 災害状況入力 3 完了

医療機関情報の入力 (1/6)

項目コード (仮) 123456

機関コード 123456 所属 秋田県

機関力名称 1 機関名称 サンプル病院

保健医療機関番号 1 郵便番号 1

住所力ナ 1 住所 1

代表電話番号 1

災害時用電話番号1 1 災害時用電話番号2 1

衛星携帯電話番号1 1 衛星携帯電話番号2 1

代表FAX番号 1

施設管理者 1 担当者所属 1

事前評価 [0]

倒壊のリスクがあるため、被災時には避難を検討ください。

状況

医療機関基本情報を完了してください。

全体状況

当院のDMAT登録者： 医師:99名 看護師:99名 業務調整員:99名
構成可能チーム数：99チーム

緊急情報

2024年09月18日 18:15	福島各エリアで通行できない状況があります。2
2024年07月05日 16:59	福島各エリアで通行できない状況があります。1
2024年07月04日 05:16	福島各エリアで通行できない状況があります。
2024年07月04日 04:03	福島各エリアで通行できない状況があります。
2024年06月25日 21:47	福島各エリアで通行できない状況があります。

すべて表示

お知らせ

2024年07月08日 23:12	2024年度DMAT隊員資格更新について/78
2024年07月04日 04:04	2024年度DMAT隊員資格更新について
2024年06月25日 21:48	2024年度DMAT隊員資格更新について

主な画面デザインの考え方

UIの基本構造

- 主要な操作の情報構造を左から右へ展開することで情報へのアクセスに一貫性を持たせ、スムーズな操作を可能とする。
- 無駄な情報、デザイン及び機能を排し、簡潔で分かりやすい画面とし、最小限の操作、入力等で利用者が作業できるようにする。

レスポンスWEBデザイン

- 現行EMISではWEBブラウザの他に医療機関及びDMAT隊員専用のアプリケーションがあるが、EMIS代替サービスではレスポンスWEBデザインでPC及びスマートフォンから最適な画面サイズで利用する。(一部コミュニケーションツールとしてアプリケーションを利用する)

画面遷移

- EMIS代替サービスでは、利用者が利用するデバイスを自動的に判定し、利用者の権限種別に応じて最適な画面を表示する。

※ 画面デザインは大きく分けて2種類あります。Salesforceを用いて構築した機能・画面はスムーズな操作が可能、kintoneを用いて構築した機能・画面は利用者自らが機能追加することが可能です。なお、上図はSalesforceを用いて構築した機能・画面の画面デザインのイメージであり、現在設計・構築中であるため、今後変更となる可能性があります。

2. EMIS代替サービスを利用した訓練・研修 研修・訓練の実施内容

EMIS代替サービスの研修は代表者研修と全利用者研修の2回に分けて実施し、1回目は代表者にEMIS代替サービスに習熟してもらい、2回目は代表者が全利用者を育成して全ての利用者がEMIS代替サービスに慣熟できるようにする想定です。また、EMIS代替サービスの訓練は代表者研修で習熟した都道府県等が主体となり、実践形式でEMIS代替サービスを使用した訓練を実施する想定です。

項目	研修		訓練
	代表者研修	全利用者研修	EMIS代替サービス開始訓練
開催目的	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療の陣頭指揮を執る都道府県の代表者がEMIS代替サービスに習熟する。 代表者の要望や指摘事項を基にEMIS代替サービスのシステムをより良くする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての利用者がEMIS代替サービスに慣熟する。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害が発生した際に迅速に対応できるよう、実践形式でEMIS代替サービスを使用し、EMIS代替サービスに慣熟する。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> EMIS代替サービス事業者が作成した利用者ごとの基本操作に関する解説付きのデモ動画を用いて、厚生労働省がオンラインで研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> EMIS代替サービス事業者が更新した利用者ごとの基本操作に関する解説付きのデモ動画を用いて、都道府県の代表者がオンライン又はオフラインで研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行EMISを利用したブロック訓練等を参考に、災害を想定したシナリオに基づくEMIS代替サービスを使用した訓練を行う。 ✓ 開催日程候補：3月上旬 ✓ 開催地：今後検討
システム・研修資料の更新内容	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省は調達仕様書に基づいて構築したシステム及び研修資料・動画を用いて代表者研修を実施する。 厚生労働省は代表者研修で挙げた要望や指摘事項については、優先度を付けた上で全利用者研修までに機能追加・改修を行う。必要に応じて研修資料・動画の更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県は代表者研修での要望や指摘事項等を反映したシステム及び研修資料・動画を用いて全利用者研修を実施する。 都道府県は全利用者研修で挙げた要望や指摘事項を取りまとめ、優先度を付けた上で厚生労働省にフィードバックする。 厚生労働省は都道府県からフィードバックされた内容を確認し、次年度以降に機能追加・改修を行う。必要に応じて研修資料・動画の更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県は代表者研修での要望や指摘事項等を反映したシステム及び研修資料・動画を用いて全利用者研修を実施する。 都道府県は全利用者研修で挙げた要望や指摘事項を取りまとめ、優先度を付けた上で厚生労働省にフィードバックする。 厚生労働省は都道府県からフィードバックされた内容を確認し、次年度以降に機能追加・改修を行う。必要に応じて研修資料・動画の更新を行う。
主催者	厚生労働省	都道府県（代表者）	都道府県（代表者）
受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県（代表者） 医療機関、DMAT等 ※1 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、DMAT等 ※1 市区町村・保健所等 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、DMAT等 ※1 市区町村・保健所等
人員	250名程度	13,000名程度	該当する地域のEMIS代替サービス利用者
実施時期	令和7年1月 ※2	令和7年3月 ※2	令和7年3月 ※2

※1：都道府県が管轄するエリアにおいて研修・訓練に参加する利用者を募集・選出する想定です。

※2：ヘルプデスク・コールセンターが対応可能な平日9時～17時を想定しています。

2. EMIS代替サービスを利用した訓練・研修 都道府県へのご依頼

代表者研修に関する依頼事項へのご協力をお願いいたします。

【依頼事項】

#	項目	依頼事項	対応希望日
1	代表者研修の 受講対象者の選出	<ul style="list-style-type: none">EMIS代替サービスの設計・構築後、令和7年1月に代表者研修を実施する予定です。当該研修に参加いただく都道府県の災害医療担当者その他、県下においてEMIS代替サービスを優先的に習熟いただく医療機関及びDMATの選定をお願いいたします。なお、選定いただく医療機関・DMATについては確実にアカウントを発行する必要があるため、お手数ですが、組織名（読みカナ含む）、住所、メールアドレス、電話番号、（ある場合）G-MISのアカウントの情報を別途アンケートで確認しますのでご協力ください。	10/18 (金)

3. EMIS代替サービスにおける各都道府県のアカウント発行・管理 EMIS代替サービスでのアカウント発行ルール

EMIS代替サービスでは原則として1組織1アカウントとし、厚生労働省・DMAT事務局にてアカウントを一元管理する想定です。各都道府県では市区町村や保健所等からの申請依頼を取りまとめ、厚生労働省・DMAT事務局に申請をしていただくことを想定しております。

アカウント発行ポリシー 及び今後の対応方針

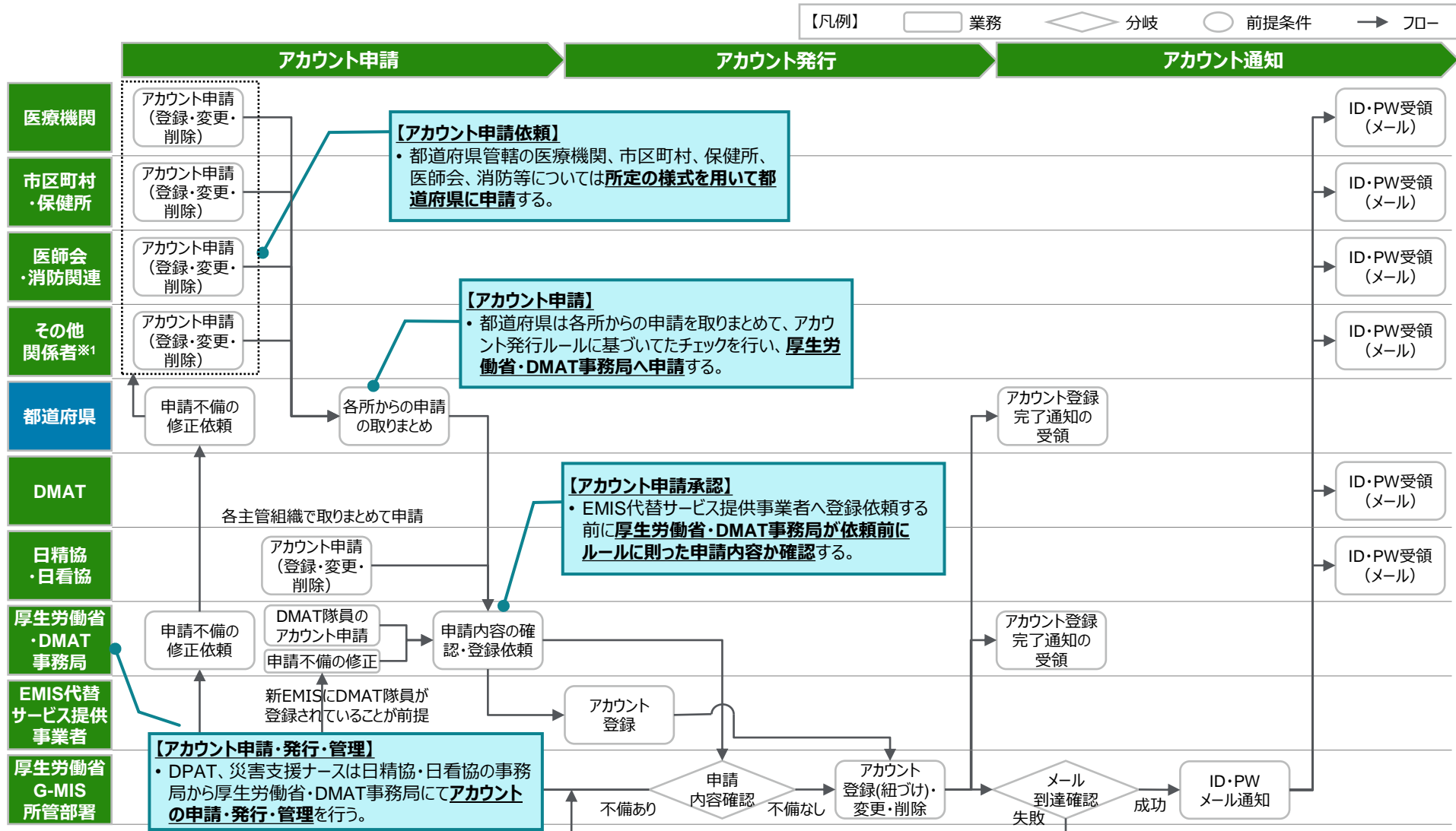
現行EMISは都道府県でもアカウント発行が可能となっていました、EMIS代替サービスではアカウントの作成ルールを定めた上で厚生労働省・DMAT事務局が一元的に発行・管理し、アカウント状況を把握します。

- ✓ 組織アカウントは原則1組織につき1アカウント、個人アカウントは原則1人につき1アカウントとする。
- ✓ アカウントの発行対象は新たに定めるルールに従い、アカウントが必要な理由等を明記した上でアカウントの申請を行う。

アカウント発行形態の種類			EMIS		SSO利用		アカウント例	備考	
利用者	アカウント種別	現行	ToBe	現行	ToBe				
1	医療機関	病院、有床診療所	組織	○	○	○	○	芦ノ牧温泉病院	—
2		無床診療所、歯科等	—	○	×	○	×	(EMIS代替サービス利用は無し)	—
3	都道府県、市区町村、保健所、消防等		組織	○	○	△	○	北海道総務部危機対策局危機対策課、旭川市保健所	現行Med-Loginは都道府県のみSSO利用
4	コーディネーター 関連	災害医療コーディネーター	組織	○	○	×	○	東京都災害医療コーディネーター	—
5		その他コーディネーター	—	○	×	×	×	廃止 (No.4に統合のため)	災害薬事コーディネーター、個人登録されているコーディネーター等
6	医師会、看護協会、日本赤十字社		組織	○	○	×	○	日本赤十字社北海道支部、東京都医師会	—
7	厚生労働省、DMAT事務局等		組織	○	○	×	○	厚生労働省 地域医療計画課、DMAT事務局	—
8	厚生局		組織	○	○	×	○	関東信越厚生局	—
9	政府関連機関	内閣府・防衛省・総務省等	組織	○	○	×	○	内閣府 政策統括官 (防災担当)	—
10	DMAT隊員 (統括DMAT含む)		個人	△	○	×	○	DMAT 太郎	—
11	DPAT・災害支援ナース		個人	×	○	×	○	DPAT 次郎	—
12	JMAT・日赤救護班等救護班		個人	×	○	×	×	JMAT001、日赤救護班002	事前に発行して各組織に配布
13	その他機関		組織	○	×	×	○	原則廃止	必要な場合は要相談
14	訓練・研修専用アカウント		組織	○	×	×	○	廃止 (研修環境側で別途整理)	—
15	システム管理アカウント		組織	○	○	△	△	EMIS代替サービス提供事業者	現行1アカウントのみSSO利用

3. EMIS代替サービスにおける各都道府県のアカウント発行・管理 EMIS代替サービス稼働後のアカウント登録・変更・削除の方法（案）

EMIS代替サービス稼働後のアカウント発行について、DMAT以外の利用者からのアカウント申請は都道府県が取りまとめて、厚生労働省・DMAT事務局にまとめて申請し、EMIS代替サービス事業者及び厚生労働省G-MIS所管部署へ依頼し、EMIS代替サービス及びIDaaSへ登録する想定です。



※1：現EMISのアカウントである自衛隊、関連省庁、行政機関・関連機関、協会・連合会等を集約した利用者の分類

3. EMIS代替サービスにおける各都道府県のアカウント発行・管理 都道府県へのご依頼

EMIS代替サービスを利用するためのアカウントのご用意をするために必要な情報の提供をお願いいたします。別途送付しておりますExcelのフォームにて各アカウントの作成に必要な情報をご回答のうえご返信ください。医療機関についてはG-MISからの情報を基に登録を行うため、今回のアカウント情報の収集対象外としております。

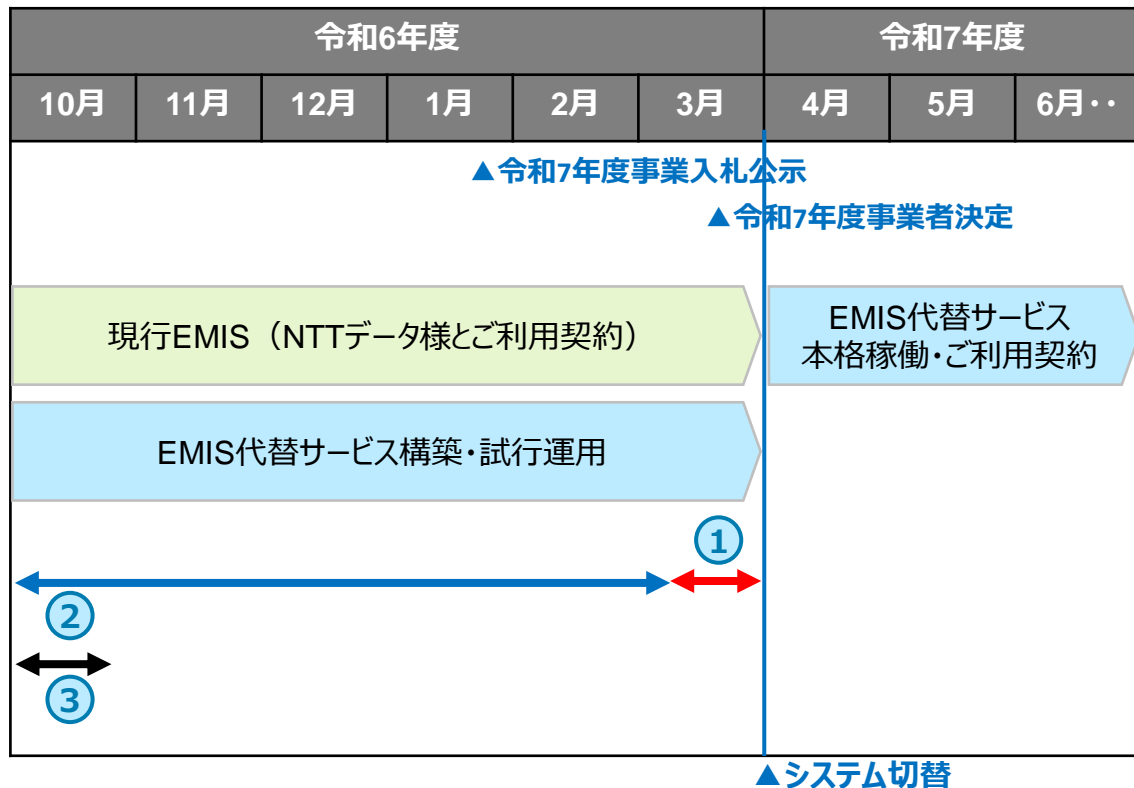
【依頼事項】

#	項目	依頼事項	対応希望日
1	都道府県の災害担当、 災害医療 コーディネーターの アカウント作成に 必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の災害担当と災害医療コーディネーターの組織アカウントの作成に必要な情報をご連絡いただきたいです。必要項目につきましては、別途送付しましたアンケート（Excelのフォーマット）をご確認の上、ご記入をお願いいたします。 	10/18 (金)
2	市区町村、保健所、 消防関係の アカウント作成に 必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村、保健所、消防関係の組織アカウントの作成に必要な情報をご連絡いただきたいです。必要項目につきましては、別途送付しましたアンケート（Excelのフォーマット）をご確認の上、ご記入をお願いいたします。 その他の組織のアカウントが必要な場合は、お手数ですが必要理由を明記の上申請ください。 	11/29 (金)

4. EMIS代替サービス提供事業者との個別契約

現在構築中のEMIS代替サービスは今年度の試行運用を経て、令和7年度から本格稼働に切り替わります。これに伴い、都道府県各位におかれましては、現行EMISの事業者であるNTTデータ様から令和7年度の受託事業者に契約を切り替えていただく必要があります。

スケジュール



留意事項及び対応策

① 次年度利用契約のための期間

令和7年度受託事業者の決定が令和7年3月中旬予定のため、令和7年4月からEMIS代替サービスの契約に切り替えていただくための契約を締結するには**2週間弱しか時間がなく**、都道府県各位、令和7年度事業者ともに準備が間に合わない可能性がある。

② 事前の契約準備

令和6年度の事業者が令和7年度の利用計画のための準備を行うことで、令和7年度事業者が決定後に速やかに整理した情報の引継ぎを行い、契約作業をしていただけるように進める。令和6年度の事業者がEMIS代替サービス利用契約締結にあたり都道府県各位にご連絡、必要な書類や資格情報などを、収集し整理を行う予定。

③ 契約にあたって必要と想定している書類や資格情報など情報の収集

- **随意契約に必要な入札資格の有無、必要な場合の区分の情報 ★優先度高**
- 見積書の書式
- 契約書ひな型
- その他契約締結に必要な書類や必要な調整など

【連絡先】 令和6年度受託事業者
日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
・住所：東京都文京区小石川1-21-14
NRK小石川ビル
・TEL：03-6757-1035
・Email: biz-d@emergency.co.jp

4. EMIS代替サービス提供事業者との個別契約 都道府県へのご依頼

EMIS代替サービス提供事業者との個別契約に関する依頼事項へのご協力をお願いいたします。

【依頼事項】

#	項目	依頼事項	対応希望日
1	EMIS代替サービス事業者との次年度の利用契約に必要な情報	<ul style="list-style-type: none">• EMIS代替サービス事業者との次年度の利用契約に必要な入札資格の有無をお知らせください。• 入札資格が必要な場合はその区分も含めて詳細情報をお知らせください。	10/25 (金)